

青森県立保健大学後援会助成要綱

(目的)

第1条 この要綱は、青森県立保健大学後援会会則第3条の規定に基づく事業の実施にあたり、必要な事項を定めることを目的とする。

(対象)

第2条 この規程の適用を受ける者は、青森県立保健大学に在学する学生及び学生が組織する団体とする。

(助成方法)

第3条 助成は、青森県立保健大学後援会予算の範囲内で行う。助成を受けようとする者は、所定の申請書(申込書)を提出しなければならない。

(助成内容)

第4条 各事業の助成内容は以下のとおりとする。

(1) 学生の福利厚生に関する事業

肝炎検査、貧血検査及び実習の実施にあたり必要となる諸検査を受けた学部生及び大学院生に対し、費用の全額を助成する。

ただし、新型コロナウイルス感染症に係る諸検査については、1人につき年度あたり10,000円を上限とする。

(2) 学生の課外活動の助成に関する事業

ア サークル活動助成費として、各サークルにおける1年間の活動費用(1団体上限30,000円)を各サークルに対し助成する。

イ サークル特例補助金として、上記サークル活動助成費のみでは活動費用が不足するサークルに対し不足する費用を予算内で助成する。

ウ 自治会活動助成費として、学生自治会の事務費及び印刷費等に対し、学部生1人につき100円を学生自治会に助成する。

(3) その他必要と認める事業

ア 大学祭の開催に必要な経費(上限1,500,000円)を学生自治会に対し助成する。

イ 会報誌作成費として年2回発行される保健大学だよりの制作費及び発送費について、大学と後援会との覚書に基づく金額を大学に対し助成する。

ウ 卒業関係・国家試験対策関係助成費として必要な費用(上限10,000円)を当該年度の卒業(修了)予定者に対し助成する。

エ 修了関連助成費として大学院の修了予定者に対し、修了記念品購入費及び謝恩会開催経費の3分の1(学生1人あたり上限2,000円)を助成する。

オ 新入生研修費として新入生研修に係る経費の全額を助成する。

カ 大学院新入生ウエルカムパーティ費用として学生1人あたり1,000円を大学に対し助成する。

(精算)

第5条 概算により支払いを受けた者は、事業終了後すみやかに必要な書類を添えて報告するものとする。

2 前項の規定により余剰金が生じたときは、その費用を返還するものとする。

(雑則)

第6条 この規程に定めるもののほか、助成に関し必要な事項が生じた場合は、会長が決定し、次の理事会及び総会に報告しなければならない。

附 則

この要綱は、令和3年6月29日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年5月1日から施行する。

項目	支出先	支払方法	根拠	摘要	助成額単価(税込)	人数	科目名	
1 会議費	後援会役員	振込	残存データH18～「青森市内1回あたり3,000円」としていた。H26～高田会長への配慮として「蓬田村1回あたり7,000円」を追加した。算定根拠はタクシー往復概算である。	役員旅費	@3,000円 @7,000円	青森市内1回あたり@3,000円、蓬田村1回あたり@7,000円		
2 事務費	後援会員(保護者)	現金	保護者等(後援会)懇談会の開催にあたり、学部生の保護者全員分を郵便にて発送している。	保護者懇談会開催案内発送	@92円	975	郵送 学部学生保護者数×1回	
3 事業費								
(1)サークル活動助成	自治会 ①	振込	青森県立保健大学学生自治会会則第9条1項に基づき、学生一人あたり100円の助成をしている。	自治会活動費	@100円	930	学部生数	
	サークル ②	振込	サークル代表者委員会規程第12条に基づき、必要に応じた金額を助成し、上限は3万円としている。 サークル代表者委員会規程第12条に基づき、サークル基本助成費とは別に、必要に応じて特例として予備費より補助金を交付している。	サークル基本助成費 特例助成費	@30,000円 500,000円	35	申請に応じ、活動サークル1団体あたりの上限単価 申請に応じ自治会が取りまとめ	
(2)大学祭等	大学祭実行委員会	振込	青森県立保健大学祭実行委員会規程第3条に基づき助成することとしている。	大学祭開催に係る助成費	1,500,000円			
(3)会報誌作成	後援会員(保護者)	振込	平成25年6月17日に公立大学法人青森県立保健大学と青森県立保健大学後援会が交わした覚書に基づき、発行費を一部負担している。	「活彩！保健大学だより」統合により大学と費用折半	145,000円	990部	作成	
(4)福利厚生 (健康管理専門部会)	全学科・課程	①	新入生全員	血液検査(貧血) HCV抗体検査 HBS抗原・抗体検査 採血・判断料	@324円 @1,620円 @1,134円 @475円	249 249 249 249	学部新入生、編入生、大学院新入生全員 (検査必須項目)	
(実習関連)	看護	②	2～4年生	HBS抗体検査	@1,069円	130	看護学科学外諸実習 (原則として2年生を対象とし、予算の範囲内で対応)	
		③	3年生	腸内細菌検査	@648円	53	発達援助実習Ⅰ(小児看護)	
		④	3年生	腸内細菌検査	@648円	53	発達援助実習Ⅱ(小児看護)	
		④	4年生	QFT検査	@10,800円	3	助産学実習	
	理学	⑤	3年生	インフルエンザ予防接種	@4,000円	35	28年度接種人数見込 35人	
		⑤	3年生	QFT検査	@10,800円	1	◆総合臨床実習 1名	
	社福	⑥	2年生	腸内細菌検査	@2,484円	11	社会福祉基礎実習Ⅱ	
		⑦	3年生	腸内細菌検査	@2,484円	15	ソーシャルワーク実習	
			3年生	腸内細菌検査+聴力検査+血液検査	@3,780円	1	ソーシャルワーク実習	
			3年生	HBS抗原・抗体+HCV抗体検査	@3,618円	2	ソーシャルワーク実習	
			3年生	HBS抗原・抗体検査	@1,448円	2	ソーシャルワーク実習	
		⑧	4年生	腸内細菌検査	@2,484円	2	精神保健福祉援助実習Ⅰ	
	栄養	⑨	3年生	腸内細菌検査	@2,484円	3	精神保健福祉援助実習Ⅱ	
			3年生	腸内細菌検査	@756円	14	公衆栄養学臨地実習	
			3年生	腸内細菌検査	@648円	35	給食経営管理臨地実習	
			3年生	カンピロバクター	@1,080円	5	給食経営管理臨地実習	
			3年生	O-111、O-26	@1,080円	4	給食経営管理臨地実習	
			3年生	黄色ブドウ球菌	@1,080円	6	給食経営管理臨地実習	
			3年生	腸炎ピリオ	@1,080円	5	給食経営管理臨地実習	
			3年生	EHEC	@1,080円	5	給食経営管理臨地実習	
			3年生	コレラ	@1,080円	7	給食経営管理臨地実習	
			3年生	虫卵	@194円	2	給食経営管理臨地実習	
			3年生	ノロウイルス	@3,780円	6	給食経営管理臨地実習	
			3年生	QFT検査	@10,800円	4	給食経営管理臨地実習	
			4年生	腸内細菌検査	@756円	1	公衆栄養学臨地実習	
			4年生	腸内細菌検査	@756円	35	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ	
	4年生	腸炎ピリオ	@1,080円	20	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ			
	4年生	カンピロバクター	@1,080円	20	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ			
	4年生	EHEC	@1,080円	30	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ			
	4年生	アエロモナス	@1,080円	4	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ			
	4年生	黄色ブドウ球菌	@1,080円	4	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ			
	4年生	ノロウイルス	@3,780円	5	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ			
	4年生	QFT検査	@10,800円	6	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ			
	4年生	腸内細菌検査	@756円	4	臨床栄養学臨地実習Ⅲ			
	4年生	カンピロバクター	@1,080円	4	臨床栄養学臨地実習Ⅲ			
	4年生	腸内細菌検査	@648円	5	栄養教育実習			
	4年生	EHEC	@1,080円	5	栄養教育実習			
	4年生	カンピロバクター	@1,080円	5	栄養教育実習			
	全学科	⑩	全学年	基準額	@6,000円	45		
	全学科	⑪	全学年	健診センター以外の医療機関での検査	健診センターの検査料金を上限とし検査費用実費分			◆看護学科 15人 ◆栄養学科 15人 ◆理学療法学科5人
全学科	⑫	全学年	健診センター以外の医療機関で検査(健診センターで取り扱わない検査項目を含む検査を受けなければならない等、やむを得ない事情の場合)	検査費用実費分(必要額を精査する)				
			新型コロナウイルス感染症に係る諸検査	1人につき年度あたり10,000円を上限			臨時実習にあたり、実習機関から検査を要請された場合に限り対象とする。	
(5)国際交流費	全学科	購入品による	外国の大学との国際交流として何らかの助成が望ましいと判断された場合で、正規の大学予算計上外のものを対象とすることを前提としている。主に仁済大学(韓国)やペレノバ大学との国際交流費であり、旅費は地域連携推進課が負担し、後援会は学内交流会時の軽食や訪問時のお土産代等を助成している。 次年度、大学の事業として予算を取れないか検討。	国際交流に係る経費	@25,000円	2大学	外国の大学との国際交流を対象とする。	
(6)就職対策費	報告者(卒業生・専門職種者)	現金	県内で就業している卒業生を招致し講演してもらっている。就職先に依頼し、派遣してもらうため、就職先によって(行政など)謝金・旅費を辞退される場合もある。その場合は大学予算で支出できないお土産・茶菓などで薄謝として配慮する場合があります。後援会から助成してもらっている。 次年度、大学の事業として予算を取れないか検討。	卒業生による就職活動体験報告謝金及び専門職種者からの講話旅費・謝金 4学科	@80,000円	4学科	本学卒業生・専門職種者・県内就職者を対象とする。各学科上限をこの額とする。謝金単価はH29～大学単価基準に基づき@8400円、旅費は実費	
(7)卒業関係・国家試験対策関係	全学科	卒業・修了見込み者	現金	青森県立保健大学後援会「卒業(修了)年次研究及び国家試験対策に係る助成費」交付基準に基づき助成するものとしている。 学生への交付の仕方について、検討中。	卒業(修了)年次研究及び国家試験対策に係る助成費	@10,000円	230	
	全学科	卒業・修了見込み者	振込		卒業パーティ・記念品・アルバム等	@5,000円	230	
(8)新入生研修費	全学科	新入生上級生	振込		新入生と上級生の宿泊費用、会場費	@9,300円	260	新入生、編入生、サポーター学生(在生)
(9)アカデミックガウンクリーニング	全学科	卒業生	振込	H28予算から追加になった費目である。	アカデミックガウンクリーニング代	@2,000円	260	学部生、大学院生、登壇者
(10)その他	大学院		振込	大学院生からも後援会費を徴収しているが、上記事業費(特にサークルや実習用検査等)で学部生より還元できていないことへの配慮として、ウエルカムパーティに係る費用の一部を助成している。	大学院ウエルカムパーティー等	@1,000円	50	大学院生のウエルカムパーティーに係る費用
4 予備費				例: 慶弔費(特に基準を設けていない。整える必要があるのでは)	50,000円		予算科目外の支出があった場合に、後援会が執行を認めたものとする。	